



日本アカデミー賞受賞時は、取材時と同じフレンチネイルで登場。地瓜を生かしたナチュラル&シンプルなデザインがお好きだそう

Chieko

倍賞千恵子さん スペシャルインタビュー

Baisho

Special Interview



山田洋次という山に登り一つの作品を作り出す

山田洋次監督作の「TOKYOタクシー」で、日本アカデミー賞最優秀主演女優賞をいただきました。ステージで自分の名前が呼ばれたのがわからなくて、「何、何、どうしましょう」って感じで、びっくりしましたが、うれしかったです。山田監督は、光が当たったらその陰にいる人のことを考え、裏側で何かを支えている人たちを見つめ、そういう人たちが隅々まで生きている映画を作ります。私は監督のそんな人間の捉え方にとっても惹かれます。

PROFILE

1941年6月29日生まれ。1961年映画デビュー。1962年「下町の太陽」で歌手デビュー。山田洋次監督作品「男はつらいよ」全50作で主人公の妹さくらを演じる。「家族」(70)、「幸福の黄色いインカチ」(77)、「遙かなる山の呼び声」(80)、「駅 STATION」(81)、「PLAN 75」(22) など出演多数。山田洋次監督作品71本目の出演となった「TOKYOタクシー」(25) で第49回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞を受賞。

日本アカデミー賞 最優秀主演女優賞を受賞



第49回日本アカデミー賞のステージ



© 日本アカデミー賞協会

2025年公開「TOKYOタクシー」で主演



© 2025映画「TOKYOタクシー」製作委員会

一つの映画に出演するときには、大道具さんも照明さんも小道具さんも、みんな一緒になって、山田洋次という山をいろんな角度から「せーの」で登っていきます。みんな一生懸命で、一生懸命やっていたら、絶対誰かが見てくれるということも監督から教えてもらいました。

壮絶な人生を歩んだ主人公の生き様を表すネイル

「TOKYOタクシー」の主人公の名は「すみれ」で、監督と長年一緒にいた「男はつらいよ」では「さくら」。「やっばり花の名前の役だなあ」なんて思っていたら、映画の出だしがああ、柴又。それで、さくらを振り切ってやっていけばいいんだって、逆に思えました。監督からは、「すみれはきつくて、怖いおばあちゃんだからね」と言われていたので、そのことを頭に置いて演じたら、「あ、倍賞さん、そんな強い表現もするんだ」って(笑)。

すみれはネイリストなので、どんなネイルにするかとても悩みました。美術さんも小道具さんも、みんなが実際にネイルをしてきて、「ここのどうですか」って見せてくれたのですが、なかなか決まり

ませんでした。そんなときJNAの方たちとお話をしていたら、私の目線にふと入ってきたネイルがあって「あ、これだ」って。華やかさと強さがある印象的なデザインで、理事長の仲宗根さんがされていたものでした。「これがいいですよ。これにしましょうよ」って監督に言ったんです。そうしたら監督も「あーいいネ」とおっしゃってくれて、それで決まりました。すみれは、飛行機の片道チケットだけ買って単身アメリカに向かい、ニューヨークで働きながらネイルの勉強をした女性。仲宗根さんも、アメリカで一生懸命勉強されたそうなので、まさにすみれとリンクしています。「このネイルは私の人生なんです」という言葉通りのネイルだと思いました。

ネイルをされている方を見るようになったら、本当にそれぞれ表情が違うんですね。ネイルによってその人の生き方もわかるし、選んだ色でも伝わってくるものがあります。

撮影中は、このネイルを見るたびに「大変な人生だったんだよ、この人は」と、すみれの人生を思い起こすことができました。

華やかさと強さを表したネイルを見るたび

すみれの人生を思うことができました



撮影ではおどけたポーズをしたり、ネイルを自分の服で磨いてくれたりと茶目っ気たっぷりの姿も見せてくれました



20代で初めてネイルに出会い 80代でネイルの楽しみを再発見

私自身は、ネイルを知ったのが20歳すぎでした。松竹のスター女優さんがしているのを見て、あれはなんだろうって思ったのが初めてです。私は働いている女の子とか、子供を育てている役とかが多かったのですが、映画の中でネイルをすることがありませんでした。

妹（倍賞美津子さん）の紹介で、初めてネイルサロンに行ったときは、椅子に座って手や足を投げ出して「なんだか私、偉そうじゃない？」って気恥ずかしかったことを覚えています。ただ、終わったあとの爪を見たとき「あ、きれいって、うれしかったですね。」

家事をするので、水仕事をしても取れないジェルネイルのことは気になっていました。そうしたら映画でJNAのネイルストさんに施術してもらったことになって、本当に持ちが違いますね。それから、ネイルに光るものを入れてコンサートのステージに立ったりして、この映画をきっかけに、ネイルの楽しみ方の幅がすごく広がりました。

ネイルのケアも教えてもらって、寝る前

には必ずベトツツというくらいクリームと爪用のオイルをつけるようになりました。放っておくとササクレができて爪が縦割れしてしまうんですが、それが全然なくなりました。ケアをすると変わりますね。

ネイルストさんの仕事は、ただ何かを塗るっていうことだけじゃなくて、爪という小さな面積にもすごく細い線をスーツと描いたり、集中力がないとできないことだと思えます。ただの集中じゃなく、筆を動かしながらお話しもする。こんな集中の仕方もあるんだって、とても勉強になりました。今回は長いセリフが多い役だったので、疲れてくると途切れちゃうんです。そんなとき、「あ、そうだ、あの集中力だ」と思って、それを心に言い聞かせ演じていました。

ネイルストさんたちはコンテストに出たりして、日々自分の技術を磨いていらっしやるとお聞きして「ただただすごい、応援しています」という言葉しかありません。

私自身長く俳優をやってきて、自分を解き放ってリラックスすることが大切だと感じているので、ネイルストのみなさんみたいな意味で立ち上がって、広くいろんなものを見て、これからも素晴らしい芸術を生み出してください。

東京ネイルエキスポ2025で「ネイルオブザイヤー2025」を受賞



「TOKYOタクシー」で、主人公すみれがしていたネイル。ネイルオブザイヤー2025でも披露してくれました



© 2025映画「TOKYOタクシー」製作委員会



5月20日(水) Blu-ray & DVD 発売

- 豪華版 Blu-ray (数量限定)
本編+映像特典DISC (Blu-ray)
本編 約103分+映像特典 約135分
- 通常版 Blu-ray 本編 約103分+映像特典約2分
- 通常版 DVD 本編 約103分+映像特典約2分